

宮城県林業普及活動情報

2023. 2 月号 No. 177

もくじ

各地の林業普及活動情報

- 純国産メンマ販売支援 (大河原地方振興事務所)
- くりはら d e 苔アート&テラリウム展出展支援 (大河原地方振興事務所)
- 七ヶ宿町森林組合地区説明会での情報提供 (大河原地方振興事務所)
- こけし用木材調達に係る支援 (大河原地方振興事務所)
- 地域木材を利用した箸づくりワークショップの実施 (大河原地方振興事務所)
- 木造『ZEB』新社屋建設によるカーボンニュートラルへの挑戦
(仙台地方振興事務所)
- キャンパスから考える森林再生とカーボンニュートラル (仙台地方振興事務所)
- 早世桐植栽の取組 (北部地方振興事務所)
- 「くりはら d e 苔アート・テラリウム展」の開催
(北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 竹林の放射性物質低減化実証事業の実施 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 森林クラウドシステム操作研修 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「みやぎ海と森の交流会」の物販支援 (東部地方振興事務所)
- 鹿対策の視察対応 (東部地方振興事務所)
- 林道開設に伴う森林経営計画の策定支援 (東部地方振興事務所)
- 森林経営管理制度登米圏域推進会議(第3回)の開催
(東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 森林経営管理制度説明会の開催支援 (気仙沼地方振興事務所)
- 県林業研究会連絡協議会第1回役員会、県林研連第67回通常総会開催
(林業技術総合センター)

「純国産メンマ販売支援」

大河原地方振興事務所

【2日(木)】

放置竹林の有効活用の一環として、令和3年度に支援した、純国産メンマが商品化されたことから、PR販売の支援を行いました。

県庁で開催された「山の幸販売会」において、初めて販売をしたところ、消費者からの関心も高く、時間内に完売することができました。また、竹林整備に関する看板を表示したところ、興味を持たれた方から「活動に参加してみたい。」など意見が聞かれたほか、メンマを買えなかった方からは、「もっと作って欲しい」などの要望がありました。

今後も、竹林整備の推進や純国産メンマの生産拡大へ向け、生産者やNPO団体などと連携しながら取り組んでいきます。



【販売の様子】

「くりはらde苔アート&テラリウム 展出展支援」

大河原地方振興事務所

【4日(土), 27日(月)】

2月4日から2月26日に栗駒山麓ジオパーク・ビジターセンターで開催された「くりはらde苔アート&テラリウム展」に、川崎町で本格的な苔の栽培を目指している「AGRI&co」が出展することとなったため、活動支援を行うとともに、来場者の方に、苔の生態や栽培方法等の普及活動を行いました。

苔栽培の先進地である栗原市で開催されるイベントに出展したことで、川崎町での取組と今後の展望を他地域に知っていただくいい機会となりました。また、生産者同士の交流により繋がりができ、今後、地域を越えた連携も期待されます。

引き続き、活動支援や情報提供等により生産活動を支援していきたいと思えます。



【川崎町の生産者による苔アート】



【展示室の様子】

「七ヶ宿町森林組合地区説明会での情報提供」

大河原地方振興事務所

【17日(金)】

七ヶ宿町森林組合が開催している地区説明会に講師として参加し、森林経営計画制度の概要等について説明を行いました。

補助金を活用しながら森林整備を進めるには、森林経営計画の策定が重要であること等について理解を深めていただきました。

引き続き、森林整備の推進や担い手育成等活動支援や情報提供等により生産活動を支援していきたいと思えます。



【説明会の様子】

「こけし用木材調達に係る支援」

大河原地方振興事務所

【26日(日)】

管内のこけし工人から、こけし用のミズキ材の調達について相談を受けたことから、森林所有者及び伐採実践者に、納品する材の規格について情報提供し、マッチングを行いました。

今シーズンは、急な相談だったことから、こけし工人が要望する量を納品することが出来ませんでした。供給するネットワークを構築することができました。

今後は、来シーズンに向け、資源量の調査と、伐採から運搬までの役割分担など、関係機関で連携しながら、取組を支援していきます。



【ミズキ材運搬の様子】

「地域木材を利用した箸づくりワークショップの実施」

大河原地方振興事務所

【26日(日)】

管内地域の木材を利用した「木育」活動の普及促進を図るために、大河原町の「うらにわあとリエ」において、木工職人と連携し、地域材を使った木製箸づくり体験を実施しました。

参加者からは、「木ってすごいな。」「おばあちゃんのお誕生日プレゼントにしたい。」「また作りに来たい。」などの意見が聞かれ、木の良さを伝えることができました。

今年度は、試験的な実施でしたが、来年度は、管内の小学校の授業で取り入れてもらうことが決まっているほか、各種イベント等で同様のワークショップの実施を検討していきます。



【箸作りの様子】

木造『ZEB』新社屋建設によるカーボンニュートラルへの挑戦

仙台地方振興事務所

【20日(月)】

仙台市若林区に、宮城県産木材を用いた木造建築のZEBによるカーボンニュートラルの実現を図った、会社新社屋が完成しました。

木材に加えエネルギーの地産地消による新社屋を通じたSDGs貢献を実現しました。

また、建築中と完成後と2回にわたり、仙台市内で建築学を学ぶ高校生を新社屋に招待し、構造材に用いたCLTや木質内装のデザイン性、DLTを使ったベンチや木製家具のさわり心地などを体感することができました。

木材の良さに加え、かけがえのない地球環境に目を向けて、高校生皆さんが成長してくださることを期待しています。



【高校生がDLTベンチに座りました】

キャンパスから考える森林再生とカーボンニュートラル

仙台地方振興事務所

【21日(火)】

杜の都、学都仙台圏域にはキャンパス林を有する大学が多数あります。

林業普及指導員による森林講座から開始し、1年間、大学キャンパス林で学生の皆さんが主体となった、木育活動を行いました。

キャンパス林の歴史や現状について学ぶとともに、キャンパスの間伐、木造社屋の見学を通しての活動成果について、学生の皆さんより多くの有識者の皆さんに発表することができました。

当日は、全国の5つの大学からキャンパス林との関わりかたについての事例紹介もありました。

森林やカーボンニュートラルをテーマとして、全国で活動している方達が一同に会する貴重な機会となり、大学を拠点とした森林教育の展開のきっかけとなることを期待しています。



【キャンパスから考える森林再生とカーボンニュートラル】

早世桐植栽の取組

北部地方振興事務所

【24日(金)】

加美町の林家を中心とした地域で早世桐の植栽に取組みたいとの相談がありました。

早世桐は、生長のスピードが速く、二酸化炭素の吸収量が多い等の特徴があります。

耕作放棄地の有効活用として特用林産物である早生桐を植栽する意向なので、植栽時に活用できる補助事業の選定を中心に加美町の農業・林業担当部署も含めて打合せを行いました。

今後は、植栽と同時進行で収穫後の桐の用途についても検討していく予定です。



【打合せの様子】

「くりはら d e 苔アート・テラリウム展」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【4日(土)～26日(日)】

産地化を目指している「くりはらの苔」の魅力を発信し、苔の美しさを意識する日常空間の提供と苔文化の定着を図るため、苔オブジェとテラリウムを展示した「くりはら d e 苔アート・テラリウム展」を2月4日から26日にわたり開催しました。期間中の日曜日と祝日の4日間には、苔玉及び苔テラリウム作成教室を開催し、思い思いの苔作品の製作に取り組んでいただきました。

そのほか、苔の名前当てクイズも実施しながら、苔の生態や見分け方、管理方法等にも理解をいただきました。

苔テラリウムは、これまで苔に関するイベント等で御協力いただいた方々に依頼し55点の出展をいただきましたが、いずれの作品も大地(ジオ)と苔を結びつけた壮大な世界観が表現されていました。

一方苔テラリウム作成教室には、文字苔っこの会と栗駒高原森林組合、苔玉作成教室にはこもれびの森・森林科学館と一迫林業研究会に講師を依頼し、栗原地域に根ざした苔文化の発信が図られました。

なお、新聞2社による報道後には定数の2倍を超える95名の申込みとなり、苔に対する潜在的な関心の高さを実感することとなりました。

今後は造園協会等と情報共有を図り、造園・緑化部門への苔の活用を働きかけ、苔ビジネスを栗原地域の新たな産業へと育てていくこととしています。



【苔テラリウム展：55作品の出展を得て開催】



【苔テラリウム作成教室では、思い思いの世界観を表現できました。】

「竹林の放射性物質低減化実証事業の実施」

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【9日(木), 10日(金)】

管内産たけのこで出荷制限が続く一部地域(栗駒, 金成, 鶯沢, 花山)において, 竹林の放射性物質低減化を行い, 早期の出荷制限解除に資するため伐竹作業を実施しました。

本事業は竹林の間伐作業を行い, 竹林が保有している放射性物質の総量を低下させることで, 竹林全体の放射性物質低減化実証を図るものです。

当日は, 委託先の森林組合職員に対して業務内容の確認, 竹林所有者に対しては, 作業内容や経年の放射性セシウム濃度の移行について説明を行い, 引き続き出荷制限解除に向けた調査への協力をお願いしました。



【竹林間伐作業の様子】

森林クラウドシステム操作研修

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【14日(火)】

栗駒高原森林組合では, 森林クラウドシステムを1月に導入済みで, 基本的な操作は使用しつつ習得しています。

また, 高度な機能も有しておりマニュアルでは理解できない部分もあるため, 使用頻度の高い「森林計画図」と「地番図」を中心に手順を踏みつつ指導しました。

併せて, 現地と森林簿情報が整合しないなど修正箇所も散見されたため, 精度向上のため情報共有しつつ修正に取り組んでいきます。



【操作方法を指導】

「みやぎ海と森の交流会」の物販支援

東部地方振興事務所

【7日(火)】

水産と林業関係者の連携を目的とした標記イベント(主催: 県水産林政部)が開催され, 会場での林産物販売を支援しました。

物販には森林部門から6業者が出店し, 生しいたけや鹿肉製品のほか, 木工品としてコースターやスマホスタンドなどの小品, お盆や行燈などの精巧な木製品など, 各社の特徴ある出品があり, 木の良さを伝えることができました。また, 出店事業者間のつながりなどもでき, 今後に向け, 地域の木工をPRすることができました。



【出店の様子】

「鹿対策の視察対応」

東部地方振興事務所

【21日(火)】

近年ニホンジカが増加している青森県の林業関係者が来県し、当地域での鹿対策の取組状況を視察しました。

当方が説明役となり、現地：牡鹿半島部に設置した樹脂ネット柵（設置3年目）、同・別箇所の金属柵及び単木防除の施工地（ともに10年経過）において、防除技術の特徴や経年の効果及び植栽木の成長状況を確認してもらいました。

視察者からは今後の対策の進め方や、防鹿柵設置の注意点の質問があり、「今後の取組検討に向け、とても参考になった。」との感想をいただきました。



【防鹿柵の視察状況】

「林道開設に伴う森林経営計画の策定支援」

東部地方振興事務所

【22日(水)】

女川町担当とともに林道開設事業に伴う森林整備を進めるにあたり、森林経営計画の策定に向けた打合せを行いました。

今後、森林経営計画認定に必要な条件のクリアや必要な予算措置を考慮し、現実的な計画検討をお願いしました。また、町有林以外の森林整備に森林育成事業を活用する場合も、町有林とは別に森林経営計画を策定する必要があることなど、具体的な作業を進めるようお願いしました。



【打合せの様子】

「森林経営管理制度登米圏域推進会議（第3回）の開催」

東部地方振興事務所登米地域事務所

【2日(木)】

令和4年度3回目となる圏域推進会議を開催し、森林経営管理制度に基づき登米市が令和4年度に計画した事業の進捗状況及び令和5年度の事業計画について情報共有するとともに、森林環境譲与税の用途について、参加した森林組合等からの要望をもとに意見交換しました。

その結果、令和4年度の事業について、関係者で進捗を把握することができたほか、森林環境譲与税の用途については、ポジティブリストをもとに、もっと幅広く活用できないかといった要望があり、それを踏まえ、令和5年度の圏域推進会議については、登米市の次年度予算編成の前に開催し、関係者からの要望把握を適切なタイミングで行うこととしました。



【森林環境譲与税の用途について活発に議論】

「森林経営管理制度説明会の開催支援」

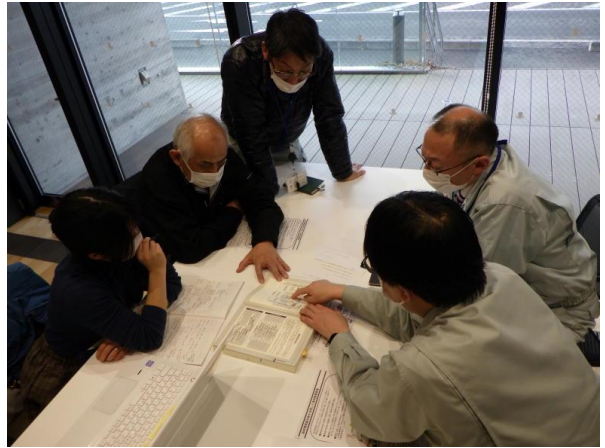
気仙沼地方振興事務所

【2日(木), 14日(火), 22日(水)】

南三陸町切曾木地区において、令和5年度秋以降の森林整備に向けた森林経営管理制度説明会の開催にあたり、支援の要請がありましたので助言・指導を行いました。

町で最初の制度説明会であるため、関係者(町・森林組合・地域林政アドバイザー)間での認識の違いも確認されましたが、マニュアル等関係資料により説明するとともに、財源となる森林環境譲与税の適切な運用に向け、他の自治体の活用事例について紹介しました。

今回の活動により、関係者間の認識の統一が図られたほか、説明会後の集積計画策定及び森林整備に向けた具体的なイメージが可能となるなど、制度理解の醸成が図ることができました。



【取組方法やスケジュールについて助言】

「県林業研究会連絡協議会第1回役員会、県林研連第67回通常総会開催」

林業技術総合センター

【3日(金)】

役員会については、県林研総会に向け総会資料・進行要領の検討を実施し、事務局案に沿って通常総会の進行要領が策定され、議事録署名人2名と新役員案が決定しました。また、通常総会については、事務局が準備し、役員会の承認を得た進行要領により議事が実施され、各議案の承認を得ました。



【総会の様子】